

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	富士見ローカルメディア「sen-nin」町民記者養成ワークショップ事業
事業主体 (連絡先)	ヤッツメディア 080-4208-7989
事業区分	① 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	988,680円 (うち支援金: 786,480円)

事業内容

全6回からなる講座は、13人の受講生達が5ヶ月間ほどで取材先の選定から事前リサーチ、実取材、原稿執筆、映像制作までを行うものである。3名1組で1人から2人の対象者に取材を行い、記事と動画コンテンツを作り上げるまでが講座内容である。



(活動写真)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 朝日新聞出版の講師(地域外)、町民(地域民)、主催団体ヤッツメディアの3者による交流がはかれるとともに、受講者の町民にとっては、今後の継続的な記者活動を通して、未知の町民(取材対象者)と数多く出会うこととなった。
- ② 取材を通じ、記事と動画で町の魅力を表現することでその町の魅力を再発見でき、埋もれていた資源に光をあてることができた。
- ③ 受講生それぞれが講座への価値を見出し、ライティングスキル、および動画撮影・編集スキルの向上がはかられた。講座終了後も、もっと学びたいという意欲を見せており、各方面で学んだ力を存分に多方面で発揮できるはずである。実際、講座終了後も他のクリエイティブ系の講座にも参加したり、仕事につながる案件も発生している。

【目標・ねらい】

- ① 「町民同士の新たな出会いを作り、コミュニティ内の相互理解」
- ② 「町民自らが自分たちのコミュニティにプライドを持ち、埋もれた資源の再発見、再発掘を目指す」
- ③ ライティングスキル、動画編集スキルの向上

※自己評価【B】

【理由】

受講者数は予想より下回ったものの、受講者の満足度は高いものになった(受講後、感想をインタビュー形式で収録済)。紙媒体の制作やSNSでの発信など、さらなる進化で多くの町民を巻き込み、富士見町の魅力を発信していく兆しを見せている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業の翌年以降(30年度)の計画は以下の通り。

- (1) 印刷媒体(フリーペーパー)の制作、印刷、配布
- (2) 記事完成後のお披露目&ライター体験談トークイベントの開催
- (3) トークイベント(SNS&ラジオ&インターネットライブ配信)の開催

取材者、取材対象者を簡易スタジオに呼び、一連の取材のエピソード等を語ってもらう。なお、トークイベントの収録、配信スタッフには、富士見高校にお声がけし、若年層との関わ

(別記様式第12号) (第3の8関係)

りも狙っていく予定。

(4)他媒体へのPR活動

29年度の受講者のコンテンツを町広報誌、公民館報、その他、民間のフリーペーパー等、希望する媒体に積極的に活動とコンテンツ内容を提供していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある